

資料1-1 プロジェクト代表事業者等の紹介資料、  
及びプロジェクト代表事業者等の関係がわかる図



中土佐町



中土佐町町勢要覧  
2006  
〔資料編〕

# 《自然》

## ■町の位置

### ●中土佐庁舎

〒789-1301  
高知県高岡郡中土佐町久礼6602-2  
TEL (0889) 52-2211(代)  
FAX (0889) 52-4511(代)

### ●大野見庁舎

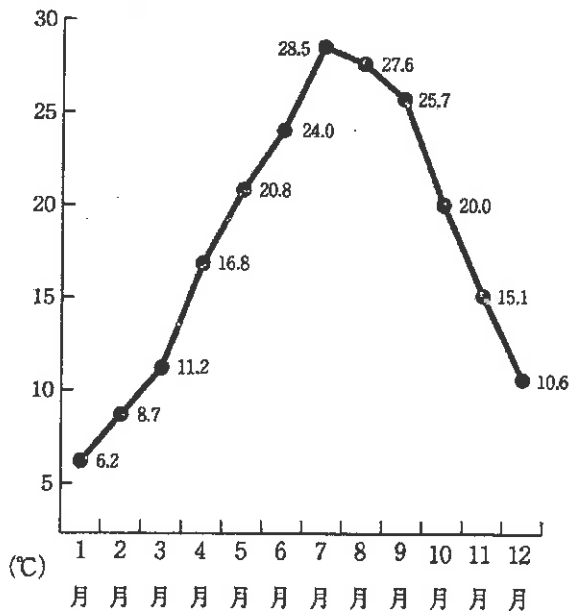
〒789-1401  
高知県高岡郡中土佐町大野見吉野12  
TEL (0889) 57-2021  
FAX (0889) 57-2710

北	緯	33°19'27"
東	経	133°13'51"
広ぼう	東西	19.5km
	南北	20.0km
面	積	193.19km <sup>2</sup>

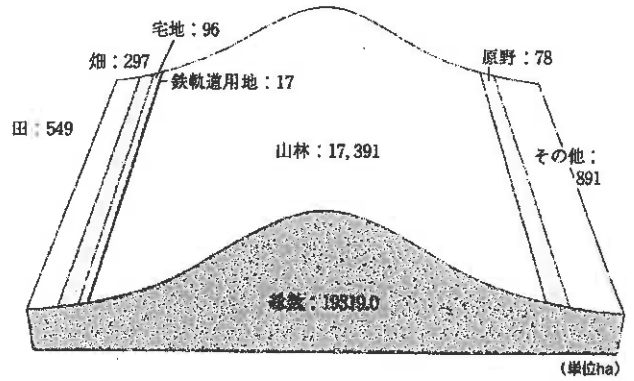


### ●月別平均気温(平成16年)

- ・年間平均気温 17.9℃
- ・年間最高気温 28.5℃
- ・年間最低気温 6.2℃

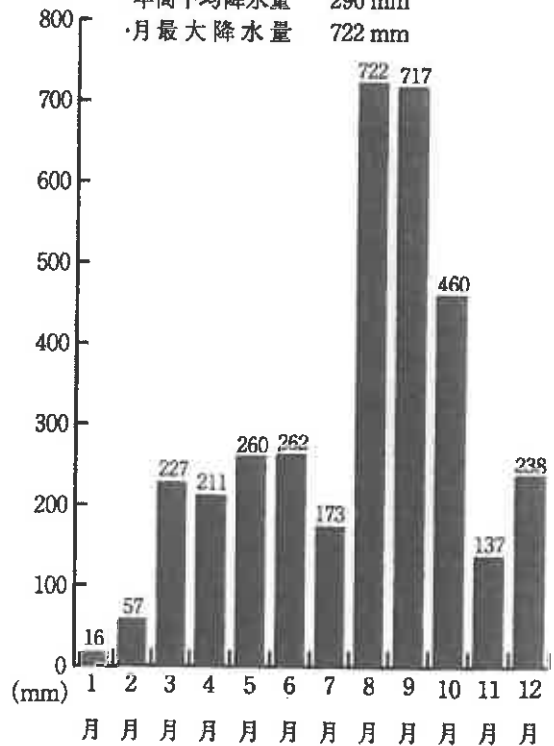


## ●土地利用状況



### ●月別降水量(平成16年)

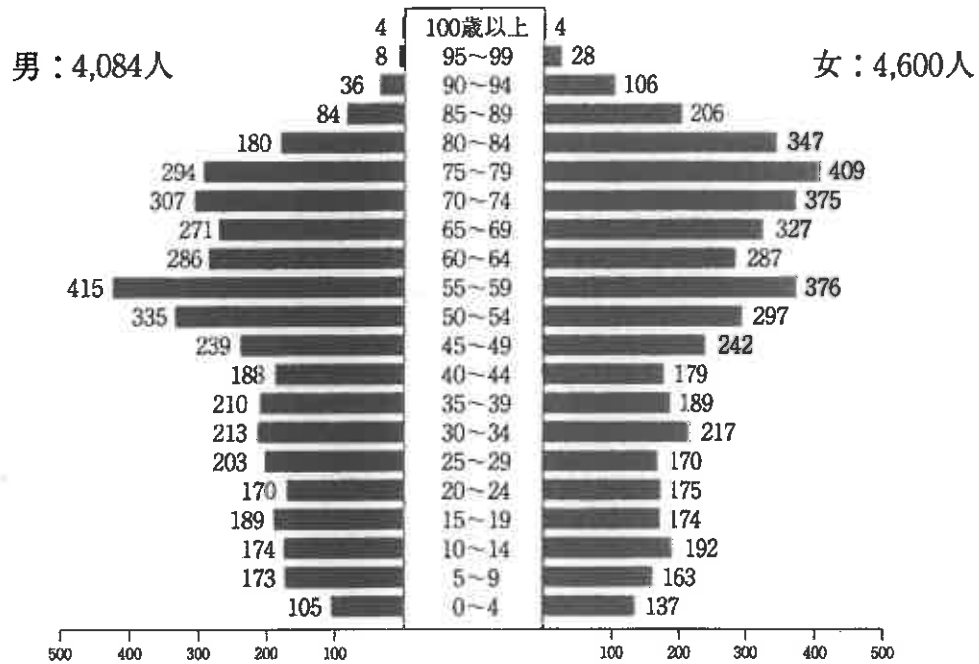
- ・年間降水量 3,480 mm
- ・年間平均降水量 290 mm
- ・月最大降水量 722 mm



高知地方気象台「高知県の気象」(観測地点高知観測所)

# 《人口》

## ●年齢階層別人口



(平成18年1月現在)

## ●人口と世帯の推移

区分 年度	世帯数	人 口			増 減 (H7年指数100)	
		総 数	男	女	世帯数	人 口
平成7年	3,264 (2,648/616)	9,321 (7,516/1,805)	4,362 (3,527/835)	4,959 (3,989/970)	100	100
平成12年	3,258 (2,647/611)	8,722 (7,011/1,711)	4,076 (3,279/797)	4,646 (3,732/914)	99.8 (100/99.2)	93.6 (93.3/95.0)
平成17年	3,225 (2,644/581)	8,321 (6,785/1,536)	3,883 (3,171/712)	4,438 (3,614/824)	98.8 (99.8/94.3)	89.3 (90.3/85.1)

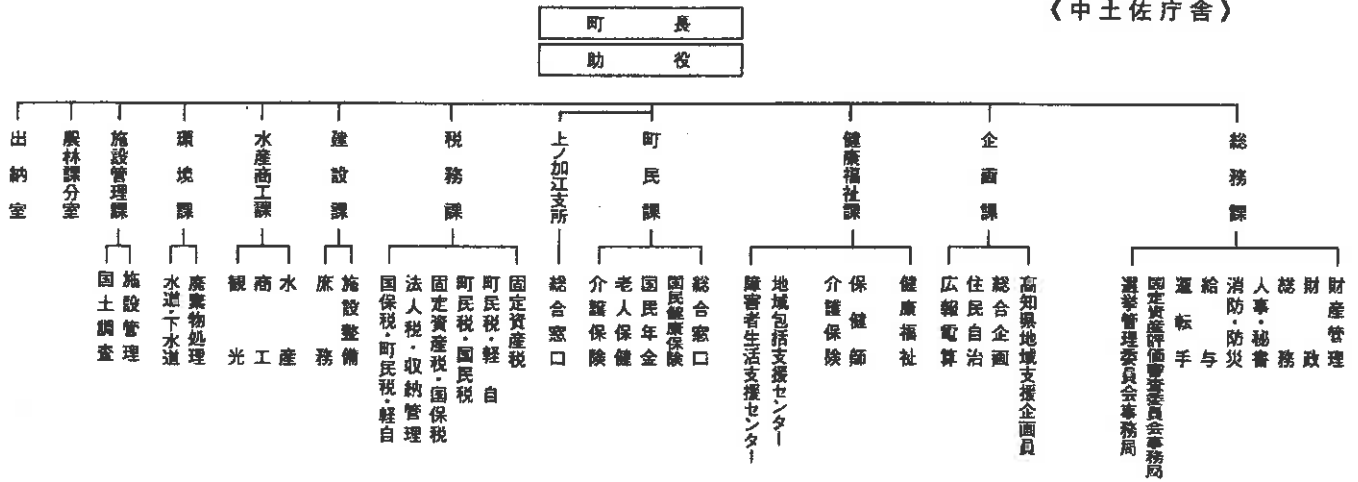
※( )内の数字は(旧中土佐町/旧大野見村)

(資料:国勢調査)

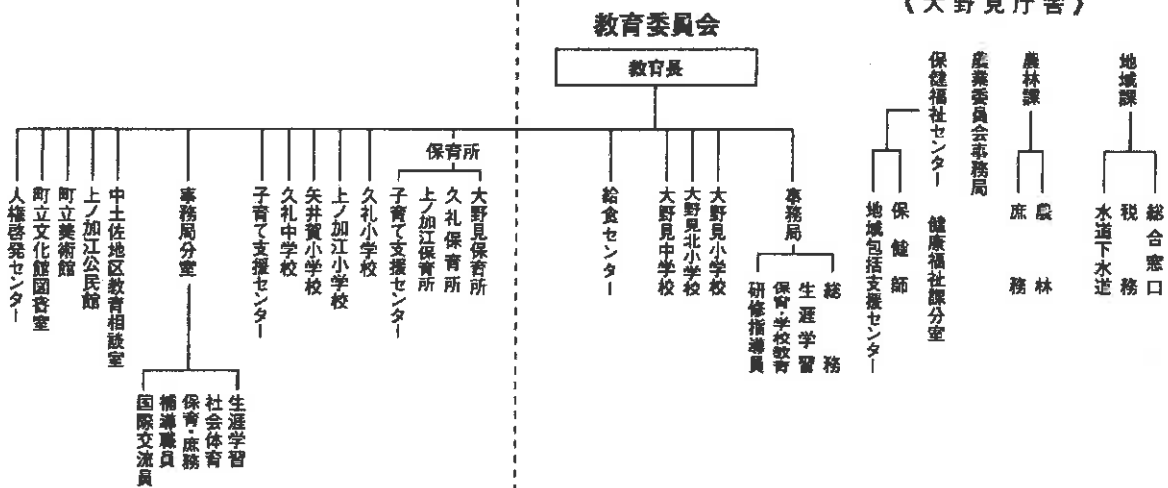
# 《行政・議会》

## 行政組織図

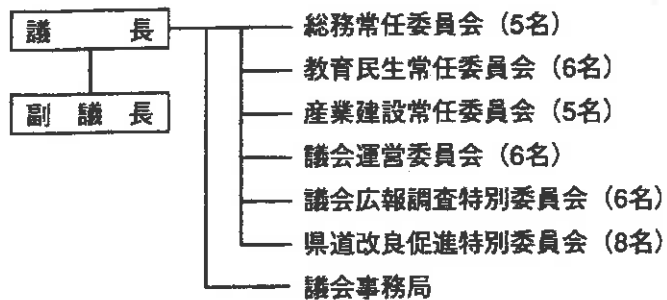
〈中土佐庁舎〉



〈大野見庁舎〉



## 議会組織



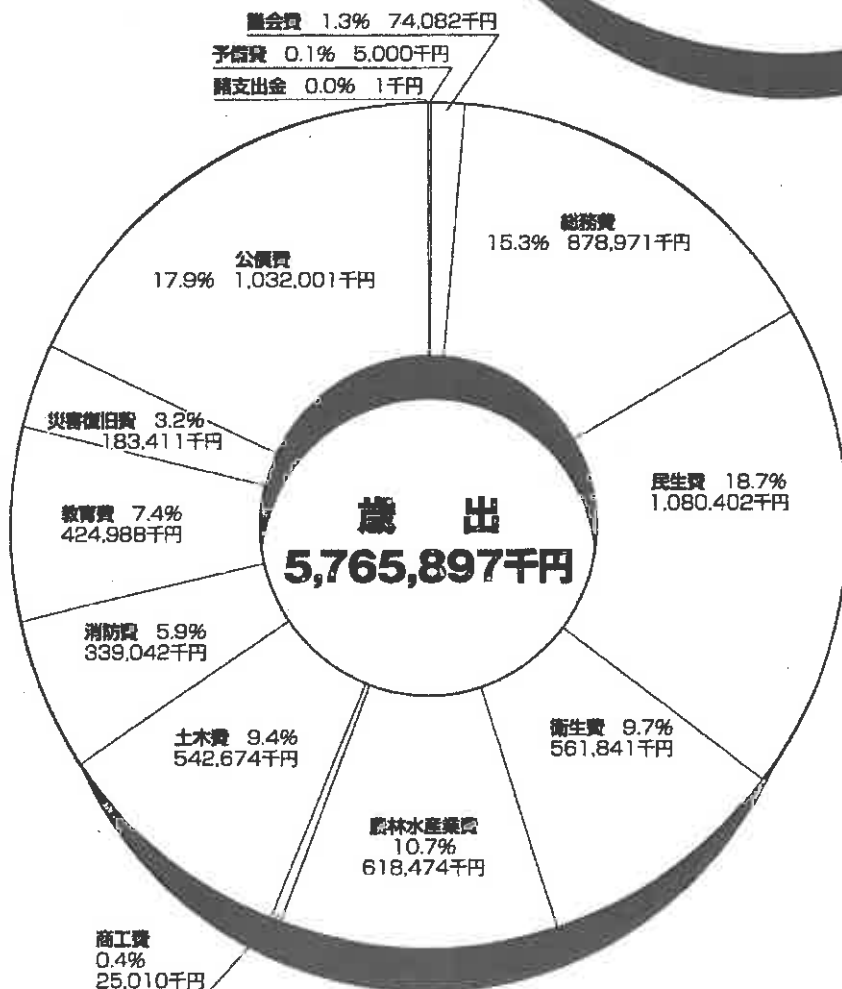
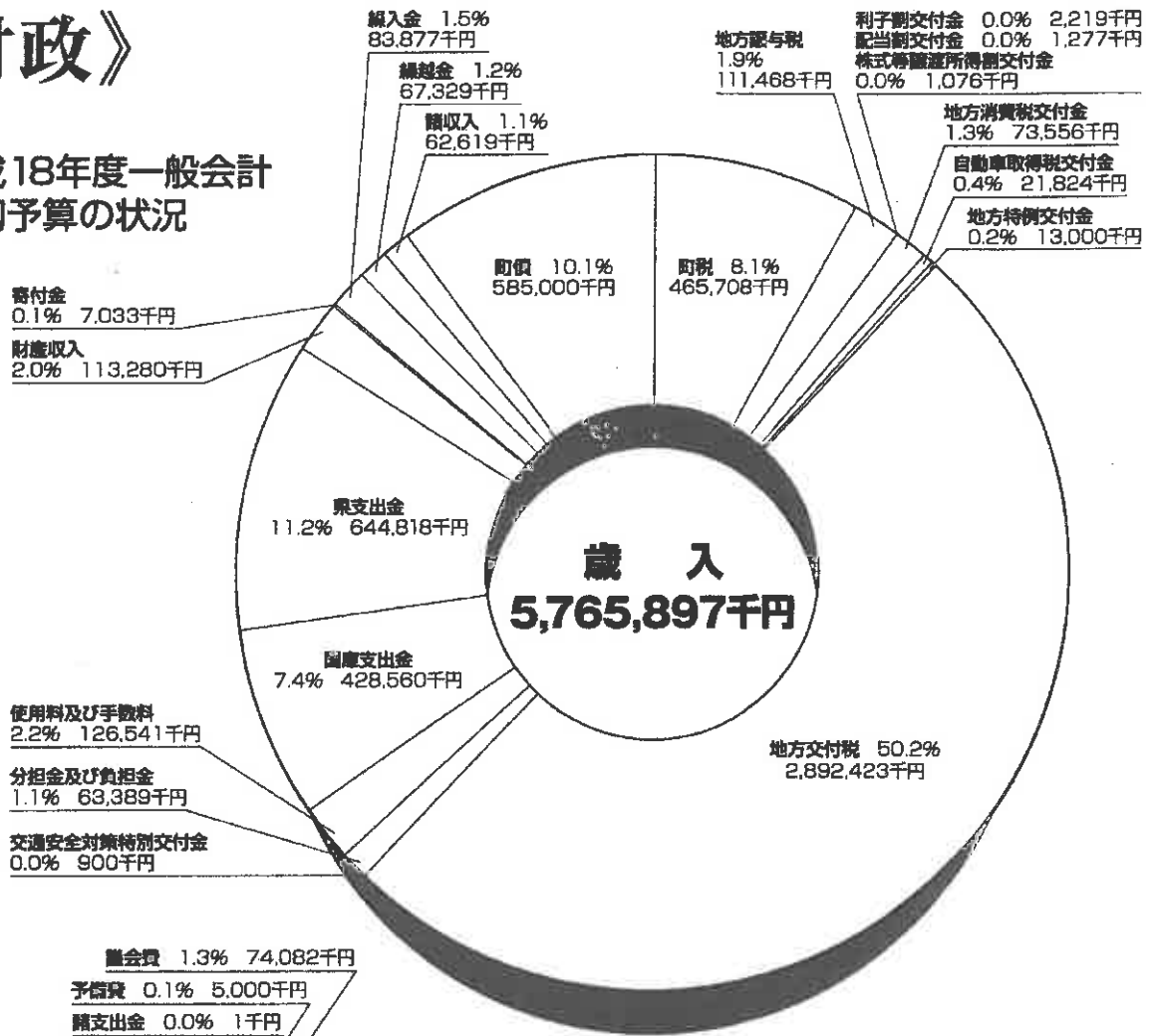
## 町議会議員

議席番号	氏名	就任年月日
議長(16)	有澤明男	平成18年2月5日
副議長(15)	中内伸勇	〃
1	柴田皓司	〃
2	野口澄	〃
3	高橋正二郎	〃
4	松下裕之	〃
5	南部悦延	〃
6	市川幸雄	〃
7	永森敏文	〃
8	清岡国男	〃
9	毛利眞一	〃
10	南部昭雄	〃
11	竹内玉男	〃
12	津田昌三	〃
13	政岡博志	〃
14	岡伊三男	〃

議会  
 監査委員  
 事務局

# 《財政》

## ●平成18年度一般会計 当初予算の状況



## ●特別会計決算の状況(平成17年度)

### 国民健康保険特別会計

(単位:千円)

区 分	旧中土佐町	旧大野見村	中土佐町
歳入総額	421,470	117,121	478,181
歳出総額	571,957	113,384	467,195
歳入歳出差引	▲150,487	3,737	10,986
翌年度に繰越すべき財源	0	0	0
実質収支額	▲150,487	3,737	10,986
実収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	0	0	10,000
一般会計繰上現金繰替流用額	150,487	0	0

### 簡易水道特別会計

(単位:千円)

区 分	旧中土佐町	旧大野見村	中土佐町
歳入総額	80,894	15,396	104,433
歳出総額	64,410	29,777	102,307
歳入歳出差引	16,484	▲14,381	2,126
翌年度に繰越すべき財源	0	0	0
実質収支額	16,484	▲14,381	2,126
実収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	0	0	0
一般会計繰上現金繰替流用額	0	14,381	0

### 農業集落排水事業特別会計

(単位:千円)

区 分	旧中土佐町	旧大野見村	中土佐町
歳入総額	9,023	4,777	103,496
歳出総額	7,997	17,147	101,572
歳入歳出差引	1,026	▲12,370	1,924
翌年度に繰越すべき財源	0	0	0
実質収支額	1,026	▲12,370	1,924
実収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	0	0	0
一般会計繰上現金繰替流用額	0	12,370	0

### 介護保険特別会計

(単位:千円)

区 分	旧中土佐町	旧大野見村	中土佐町
歳入総額	392,780	136,101	350,885
歳出総額	466,772	111,487	349,641
歳入歳出差引	▲73,992	24,614	1,244
翌年度に繰越すべき財源	0	0	0
実質収支額	▲73,992	24,614	1,244
実収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	0	0	0
一般会計繰上現金繰替流用額	73,992	0	0

## ●税収入

(単位:千円)

年度	村民税 (個人分)	村民税 (法人分)	固定 資産税	軽自動車税	たばこ 消費税	総 額
平成16年度	139,716 (115,751/23,965)	33,376 (30,541/2,835)	244,017 (189,993/54,024)	18,481 (14,334/4,147)	41,508 (38,137/3,371)	477,098
平成17年度	138,684	43,620	248,241	19,024	38,563	488,132

(資料:税務課)

### 住宅新築資金等貸付事業特別会計

(単位:千円)

区 分	旧中土佐町	旧大野見村	中土佐町
歳入総額	18,877		15,175
歳出総額	15,623		14,680
歳入歳出差引	3,254		495
翌年度に繰越すべき財源	0		0
実質収支額	3,254		495
実収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	0		0

### 定住促進宅地造成事業会計

(単位:千円)

区 分	旧中土佐町	旧大野見村	中土佐町
歳入総額	5,964		382
歳出総額	5,964		382
歳入歳出差引	0		0
翌年度に繰越すべき財源	0		0
実質収支額	0		0
実収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	0		0

### 老人保健特別会計

(単位:千円)

区 分	旧中土佐町	旧大野見村	中土佐町
歳入総額	740,972	190,811	547,613
歳出総額	800,292	190,588	547,607
歳入歳出差引	▲59,320	223	6
翌年度に繰越すべき財源	0	0	0
実質収支額	▲59,320	223	6
実収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	0	0	0
一般会計繰上現金繰替流用額	59,320	0	0

\*旧中土佐町、旧大野見村欄は、平成17年4月から12月まで、中土佐町欄は、平成18年1月から3月までの決算

# 《教育》

## ●保・小・中学校児童生徒数の推移

区分	年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
こどもの園		62	61	統合	統合	統合
久礼保育		84	90	172	164	155
双名保育		26	24	統合	統合	統合
大野見保育		50	42	42	46	36
上ノ加江保育		32	31	26	23	35
矢井賀保育		4	4	統合	統合	統合
久礼小学校		245	248	242	249	257
笹場小学校		34	31	32	32	30
上ノ加江小学校		66	60	65	63	59
矢井賀小学校		17	20	12	14	12
大野見小学校		75	74	68	62	58
大野見北小学校		18	16	20	16	16
久礼中学校		134	135	135	138	133
上ノ加江中学校		49	55	57	56	53
大野見中学校		42	47	43	40	42

(資料:教育委員会)

## ●小・中学校施設等の現況

平成18年5月1日現在

区分	学校名	久礼小	笹場小	上ノ加江小	大野見小	大野見北小	矢井賀小	久礼中	上ノ加江中	大野見中	合計
児童生徒数		258	26	59	56	14	12	126	49	44	644
学級数		14(3)	5	6	6(1)	3	3	7(3)	4(1)	4(1)	53(9)
教員数		22	7	8	10	4	5	17	11	11	95
面積 (㎡)	校舎	3,696	856	1,801	1,674	878	797	2,802	1,583	1,663	
	屋内体育館	919	648	797	—	—	695	830	830	311	

※( )内の数字は障害児学級

(資料:教育委員会)



# 《環境設備》

## ●簡易水道(平成17年度)

年度	区分	給水人口 (4月1日現在)	簡易水道			普及率 (%)
			施設箇所数	計画給水人口	実績年間給水量(m <sup>3</sup> )	
平成16年度	旧中土佐町	7,303人	9	10,846	953,398	99.63
	旧大野見村	1,443	4	1,678	171,029	86.61
平成17年度	旧中土佐町	7,170人	6	9,257	950,395	99.62
	旧大野見村	1,494	5	1,678	173,222	92.97

(資料:水道係)

## ●水道施設(平成17年度)

施設名	給水開始年月日	計画給水人口(人)	現在給水人口(人)	原水の別	浄水施設の別	配水方式	水道料金 10m <sup>3</sup> 当たり (千円)	実績年間 取水量 (m <sup>3</sup> )	実績年間 有収水量 (m <sup>3</sup> )
久礼	S25.10.1	4,700	4,333	深井戸	滅菌のみ	自然流下	520	823,560	633,056
上ノ加江	S27.4.1	2,500	1,303	深井戸	滅菌のみ	自然流下	520	196,083	179,901
矢井賀	S38.4.1	1,100	274	深井戸	滅菌のみ	自然流下	520	48,267	34,141
大野見中央	S51.6.1	1,060	932	表流水	ろ過+滅菌	自然流下	910	185,743	126,162
大野見北	S54.4.1	414	348	表流水	ろ過+滅菌	自然流下	910	53,844	34,868

(資料:水道係)

# 《消防・防火》

資料:高幡消防中土佐分署

## ●消防団員数・消防ポンプ保有数

平成18年4月1日現在

区分	定員	実員	ポンプ車	小型動力ポンプ積載車	指令車
中央分団		39	2	3	
上ノ加江分団		56	1	4	1
大野見分団		41	1	3	1
計	185	136	4	10	2

## ●高幡消防組合中土佐分署

平成18年9月1日現在

司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
1	7	3	4	5	20

司令車 1台    タンク車 1台  
 ポンプ車 1台    救助工作車 1台  
 救急車 1台

## ●種類別火災発生件数

(単位:件)

年度	区分	総数	建物	山林・原野	船舶・車両	その他
平成13年		1	1			
平成14年		1		1		
平成15年		2	2			
平成16年		8	7			1
平成17年		8	2	2	1	3

## ●事故別救急出動件

(単位:件)

自然災害	水難	交通	労働災害	一般	加害	急病	運転	その他	計	
	1	31	4	75	1	279	4	32	9	436

(平成17年1月1日~12月31日まで)

# 《福祉・医療・保健衛生》

## ●国民年金加入者数

(平成17年)

加入者数			
総数	1号	3号	60歳以上の任意加入
1,877 (1,575/302)	1,520 (1,273/247)	357 (302/55)	23 (21/2)

※( )内の数字は(旧中土佐町/旧大野見村) (資料・町民課)

## ●要介護(要支援)認定者数

(各年度末/人)

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成15年度	117 (104/13)	148 (121/27)	82 (73/9)	51 (39/12)	61 (42/19)	56 (45/11)	515 (424/91)
平成16年度	112 (102/10)	145 (119/26)	80 (69/11)	60 (47/13)	59 (48/11)	62 (48/14)	518 (433/85)
平成17年度	148	114	70	75	52	64	523

※( )内の数字は(旧中土佐町/旧大野見村)  
※平成17年の値については合併に伴い新中土佐町として表記

(資料・健康福祉課)

## ●居宅介護(支援)サービス受給者数

(各年度累計/人)

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成15年度	586 (468/118)	971 (812/159)	372 (325/47)	172 (104/68)	154 (102/52)	49 (44/5)	2,304 (1,855/449)
平成16年度	774 (681/93)	1,064 (850/214)	476 (430/46)	222 (175/47)	173 (147/26)	70 (51/19)	2,779 (2,334/445)
平成17年度	886	930	451	330	155	56	2,808

※( )内の数字は(旧中土佐町/旧大野見村)  
※平成17年の値については合併に伴い新中土佐町として表記

(資料・健康福祉課)

## ●施設介護サービス受給者数

(各年度累計/人)

	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	合計
平成15年度	772 (455/317)	641 (533/108)	458 (389/69)	1,871 (1,377/494)
平成16年度	740 (420/320)	621 (551/70)	555 (476/79)	1,916 (1,447/469)
平成17年度	784	613	495	1,892

※( )内の数字は(旧中土佐町/旧大野見村)  
※平成17年の値については合併に伴い新中土佐町として表記

(資料・健康福祉課)

## ●医療施設

(平成18年4月現在)

病院		診療所		歯科診療所
病院数	病床数	診療所数	病床数	診療所数
1	51	5	0	2

(資料・健康福祉課)

## ●老人医療

区分 年度	老人医療費 受 対 象 者 数	保険給付総額		一人当たり 受診件数	一人当たり 診療費 (円)
		件数	金額(千円)		
平成15年度	26,364 (20,265/6,099)	52,847 (42,993/9,854)	1252,199 (1,252,199/3,5,960)	1.2 (1.3/1.1)	101,673 (56,387/45,286)
平成16年度	25,088 (19,338/5,750)	51,631 (41,716/9,915)	1,410,544 (1,134,920/275,624)	1.25 (1.3/1.2)	90,958 (49,137/41,821)
平成17年度	23,898	51,498	1,442,931	1.3	47,284

※( )内の数字は(旧中土佐町/旧大野見村)

(資料-町民課)

## ●国民健康保険

(一般被保険者、退職被保険者)

区分 年度	世帯数	被保険 者 数	保険給付総額		療養諸費 (療養費、高額療養費)		その他の保険給付 (助産費、葬祭費)		1人当 た り 受 診 件 数	1人当 た り 診 療 費 (円)
			件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)		
平成 15年度	2,286 (1,828/458)	4,444 (3,580/864)	31,772 (26,709/5,163)	489,443 (395,472/98,971)	2,261 (2,065/196)	78,800 (65,861/12,939)	120 (94/26)	6,570 (5,520/1,050)	7.66 (8.05/6.06)	127,867 (129,598/120,939)
平成 16年度	2,293 (1,837/456)	4,385 (3,541/872)	33,400 (26,609/5,165)	538,685 (449,246/89,439)	2,377 (2,188/189)	84,718 (71,232/13,486)	101 (68/33)	6,270 (5,280/990)	8.16 (8.59/6.14)	142,167 (146,982/118,010)
平成 17年度	2,297 (1,838/455)	4,326 (3,488/842)	34,721 (28,948/5,773)	582,190 (489,299/92,891)	2,098 (1,964/134)	77,648 (69,971/7,677)	106 (84/22)	5,610 (4,680/930)	8.51 (8.86/7.02)	152,528 (160,941/119,439)

※( )内の数字は(旧中土佐町/旧大野見村)

(資料-町民課)

## ●健康診断受診者数の推移

(単位：人)

区分	年次	平成15年度	平成16年度	平成17年度
基本健康診査		1,547 (1,119/428)	1,401 (1,016/385)	1,313 (911/402)
結核レントゲン検診		2,346 (1,764/582)	2,130 (1,596/534)	1,698 (1,187/511)
胃がん検診		931 (628/303)	769 (523/246)	803 (530/273)
子宮がん検診		611 (474/137)	549 (413/136)	358 (204/154)
乳がん検診		700 (544/156)	247 (178/69)	290 (229/61)
大腸がん検診		198 (167/31)	166 (140/26)	161 (145/16)
乳児、1.6歳、3歳児検診		912 (643/269)	846 (610/236)	778 (533/245)

※( )内の数字は(旧中土佐町/旧大野見村)

(資料-健康福祉課)

# 《産業》

## ●産業別人口

区 分	平成7年			平成12年			
	総数	男	女	総数	男	女	
総 数	4,804 (3,820/984)	2,707 (2,157/550)	2,097 (1,663/434)	4,363 (3,459/904)	2,390 (1,895/495)	1,973 (1,564/409)	
第一次産業	農 業	883 (496/387)	477 (257/220)	406 (239/167)	708 (399/309)	372 (199/173)	336 (200/136)
	林 業	43 (15/28)	42 (14/28)	1 (1/0)	45 (16/29)	38 (13/25)	7 (3/4)
	漁 業	301 (298/3)	280 (277/3)	21 (21/0)	247 (245/2)	229 (227/2)	18 (18/0)
	小 計	1,227 (809/418)	799 (548/251)	428 (261/167)	1,000 (660/340)	639 (439/200)	361 (221/140)
第二次産業	鉱 業	7 (6/1)	7 (6/1)	0 (0/0)	4 (3/1)	4 (3/1)	0
	建 設 業	658 (575/83)	586 (514/72)	72 (61/11)	563 (489/74)	526 (463/63)	37 (26/11)
	製 造 業	799 (632/167)	315 (237/78)	484 (395/89)	675 (502/173)	280 (191/89)	395 (311/84)
	小 計	1,464 (1,213/251)	908 (757/151)	556 (456/100)	1,242 (994/248)	810 (657/153)	432 (337/420)
第三次産業	卸・小売業	780 (708/72)	285 (258/27)	495 (450/45)	607 (539/68)	215 (191/24)	392 (348/44)
	金融・保険業	55 (55/0)	14 (14/0)	41 (41/0)	68 (68/0)	23 (23/0)	45 (45/0)
	不動産業	1 (0/1)	1 (0/1)	0 (0/0)	2 (1/1)	1 (0/1)	1 (1/0)
	運輸・通信業	273 (249/24)	262 (242/20)	11 (7/4)	230 (208/22)	218 (199/19)	12 (9/3)
	電気・ガス・水道業	5 (5/0)	5 (5/0)	0 (0/0)	9 (7/2)	9 (7/2)	0
	サービス業	817 (648/169)	310 (244/66)	507 (404/103)	1,030(854/176)	353 (287/66)	677 (567/110)
	公 務 (他に分類されないもの)	181(132/49) 1(1/0)	122(88/34) 1(1/0)	59(44/15) 0	172(125/47) 3(3/0)	120(90/30) 2(2/0)	52(35/17) 1(1/0)
	小 計	2,112 (1,757/355)	999 (851/148)	1,113 (946/167)	2,118 (1,802/316)	939 (797/142)	1,179 (1,005/174)

※( )内の数字は(旧中土佐町/旧大野見村)

(資料：高知県統計)

## ●産業別事業所数・従業員者数

区 分	平成8年		平成13年	
	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数
総 数	570(483/87)	2,975(2,472/503)	553(476/77)	2,811(2,265/546)
農・林・漁業	3(1/2)	34(15/19)	1(1/0)	3(3/0)
鉱 業	1(0/1)	3(0/3)	1(1/0)	1(1/0)
建 設 業	76(63/13)	449(397/52)	66(53/13)	368(305/63)
製 造 業	55(46/9)	726(552/174)	48(39/9)	584(385/199)
電気・ガス・水道業	3(2/1)	6(5/1)	2(1/1)	4(3/1)
運輸・通信業	12(8/4)	62(52/10)	10(6/4)	62(45/17)
卸・小売業・飲食店	262(230/32)	788(713/75)	273(247/26)	814(756/58)
金融・保険業	7(7/0)	48(48/0)	6(6/0)	40(40/0)
不動産業	1(1/0)	1(1/0)	1(1/0)	1(1/0)
サービス業	136(118/18)	708(591/117)	130(114/16)	769(617/152)
公務(他に分類されないもの)	14(7/7)	150(98/52)	14(7/7)	157(109/48)

※( )内の数字は(旧中土佐町/旧大野見村)

(資料：事業所統計)

# 《農林業》

## ●林種別林野面積(森林計画面積)

単位(面積:ha・比率:%)

区分	林野面積											
	森林											
	計	樹林地(竹林を除く立木地)	人工林			天然林			竹林	伐跡地	未立地	
			小計	針葉樹	広葉樹	小計	針葉樹	広葉樹				
実数	平成2年	17,403 (8,203/9,200)	16,974 (7,819/9,155)	11,698 (4,559/7,139)	11,576 (4,492/7,084)	122 (67/55)	5,276 (3,250/2,016)	264 (70/194)	5,012 (3,190/1,822)	338 (322/16)	29 (13/16)	62 (49/13)
	平成12年	17,351 (8,209/9,142)	16,952 (7,895/9,057)	11,697 (4,611/7,086)	11,607 (4,563/7,044)	90 (48/42)	5,255 (3,284/1,971)	219 (58/161)	5,036 (3,225/1,810)	327 (311/16)	62 (1/61)	10 (2/8)
横成比	平成2年	100 (100/100)	98 (96/100)	68 (56/78)	67 (55/77)	1 (1/1)	30 (40/22)	1 (1/2)	29 (39/20)	2 (4/0)	0 (0/0)	0 (0/0)
	平成12年	100 (100/100)	98 (97/99)	68 (57/77)	67 (56/77)	1 (1/0)	30 (40/22)	1 (1/2)	29 (39/20)	2 (3/0)	0 (0/1)	0 (0/0)

※( )内の数字は(旧中土佐町/旧大野見村)

(資料:中国四国農政局高知統計情報事務所)

## ●専業兼業別農家数・経営耕地規模農家数

林家総数	1.0ha~2.9	3~4.9	5~9.9	10~19.9	20~29.9	30~49.9	50~99.9	100ha以上
552 (273/279)	214 (141/73)	99 (52/47)	99 (36/63)	82 (29/53)	30 (8/22)	11 (2/9)	11 (3/8)	6 (2/4)

(資料:農林業センサス)

## ●専業兼業別農家数・経営耕地規模農家数

(単位:戸)

区分 年次	農家総数	専業兼業農家数				経営耕地規模別農家数					
		専業農家	兼業農家			0.5ha未満	0.5 \ 1	1 \ 1.5	1.5 \ 2	2 \ 3	3.0ha以上
			総数	第1種	第2種						
昭和60年	777	165	612	180	432	308	292	110	44	20	3
平成元年	615	129	486	143	343	185	265	103	37	22	3
平成5年	571	147	424	139	285	169	261	77	38	22	4
平成10年	489	152	337	82	255	131	210	92	30	22	4
平成15年	419	165	254	61	193	89	201	72	28	26	3

(資料:農林業センサス)

## ●主要農作物生産状況

(面積:ha、収穫量:t)

	平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	面積	収穫量	面積	収穫量	面積	収穫量	面積	収穫量	面積	収穫量
水 稲	314 (149/165)	1,436 (691/745)	312 (147/165)	1,408 (678/730)	310 (143/167)	1,356 (630/726)	309 (143/166)	1,274 (589/685)	310 (144/166)	1,146 (588/558)
生 姜	14 (3/11)	406 (65/341)	12 (2/10)	362 (52/310)	12 (2/10)	375 (45/330)	15 (2/13)	445 (42/403)	15 (2/13)	407 (30/377)
さやいんげん	6 (5/1)	205 (202/3)	6 (5/1)	199 (196/3)	6 (5/1)	182 (179/3)	8 (7/1)	201 (198/3)	8 (7/1)	223 (221/2)
に ら	7 (5/2)	317 (238/79)	7 (5/2)	323 (253/70)	6 (5/1)	299 (245/54)	6 (5/1)	341 (288/53)	6 (5/1)	331 (282/49)
いちご	3 (2/1)	116 (85/31)	3 (2/1)	126 (95/31)	3 (2/1)	105 (84/21)	5 (4/1)	140 (120/20)	5 (4/1)	119 (98/21)
大 根	5 (3/2)	171 (105/66)	5 (3/2)	176 (108/68)	5 (3/2)	163 (105/58)	5 (3/2)	153 (102/51)	5 (3/2)	151 (99/52)
みょうが	4 (4/0)	154 (154/0)	4 (4/0)	148 (148/0)	4 (4/0)	156 (156/0)	4 (4/0)	150 (150/0)	4 (4/0)	111 (111/0)
ジャガイモ	5 (3/2)	59 (35/24)	5 (3/2)	54 (32/22)	5 (3/2)	54 (32/22)	4 (2/2)	46 (26/20)	4 (2/2)	48 (26/22)
な す	3 (2/1)	157 (152/5)	3 (2/1)	143 (138/5)	2 (1/1)	110 (106/4)	2 (2/0)	80 (77/3)	2 (2/0)	69 (67/2)
白 菜	2 (1/1)	48 (24/24)	2 (1/1)	48 (24/24)	3 (2/1)	42 (21/21)	2 (1/1)	40 (20/20)	2 (1/1)	38 (19/19)

※( )内の数字は(旧中土佐町/旧大野見村)

(資料:農林課)



### ●漁業経営体の推移

年 度	漁業 経営体数	漁 船					個人漁業経営世帯			1経営体 平均漁獲 金額 (万円)
		無動力船 隻数(隻)	船外機付 船隻数 (隻)	動 力 船			計 (人)	家族 (人)	雇用者 (人)	
			隻数(隻)	トン数(t)	馬力数 (PS)					
平成 5年	243	3	48	251	1,234.17	13,210	427	280	147	748
平成10年	227	0	43	224	1,186.13	13,214	412	256	156	765
平成15年	191	0	31	187	1,092.67	11,523	320	210	110	1,437

(資料:漁業センサス)

### ●最盛期の海上作業従事者数別経営体数の推移

年 度	総 数	1人	2人	3-4人	5-9人	10-19人	20-49人	50人以上	1経営体平均
平成 5年	243	193	24	11	11	2	2	-	1.76
平成10年	227	185	14	9	13	6	-	-	1.81
平成15年	191	161	14	7	5	1	3	-	1.51

(資料:漁業センサス)

### ●規模別漁船隻数

(単位:隻)

年 度	区 分	総 数	無 津 力 船	船 外 機 付 船	動 力 船									
					総 数	一 ト ン 未 滿	一 一 三	三 一 五	五 一 〇	一 〇 一 二 〇	二 〇 一 三 〇	三 〇 一 五 〇	五 〇 一 一 〇 〇	一 〇 〇 一 一 〇 〇
平成10年		267	-	43	224	22	88	90	6	14	-	-	2	2
平成15年		204	-	31	173	10	63	80	4	12	-	-	2	2

(資料:漁業センサス)



●産業別商店数・従業者数・商品販売額

区分		年次	平成11年度	平成14年度	平成16年度
総 数	商 店 数		222 (197/25)	196 (170/26)	210 (187/23)
	従 業 者 数		635 (588/47)	623 (546/77)	632 (569/63)
	年間販売額(百万円)		5860 (5185/675)	5400 (5056/344)	6019 (5631/388)
卸 売 業	商 店 数		13 (13/0)	11 (11/0)	14 (13/1)
	従 業 者 数		35 (35/0)	38 (38/0)	42 (41/1)
	年間販売額(百万円)		388 (388/0)	299 (299/0)	x (277/x)
小 売 業	商 店 数		209 (184/25)	185 (159/26)	196 (174/22)
	従 業 者 数		600 (553/47)	585 (508/77)	590 (528/62)
	年間販売額(百万円)		5472 (4797/675)	5100 (4756/344)	x (5355/x)

※小売業の中に飲食業の数値が含まれている

(資料:商業統計)

※( )内の数字は、(旧中土佐町/旧大野見村)

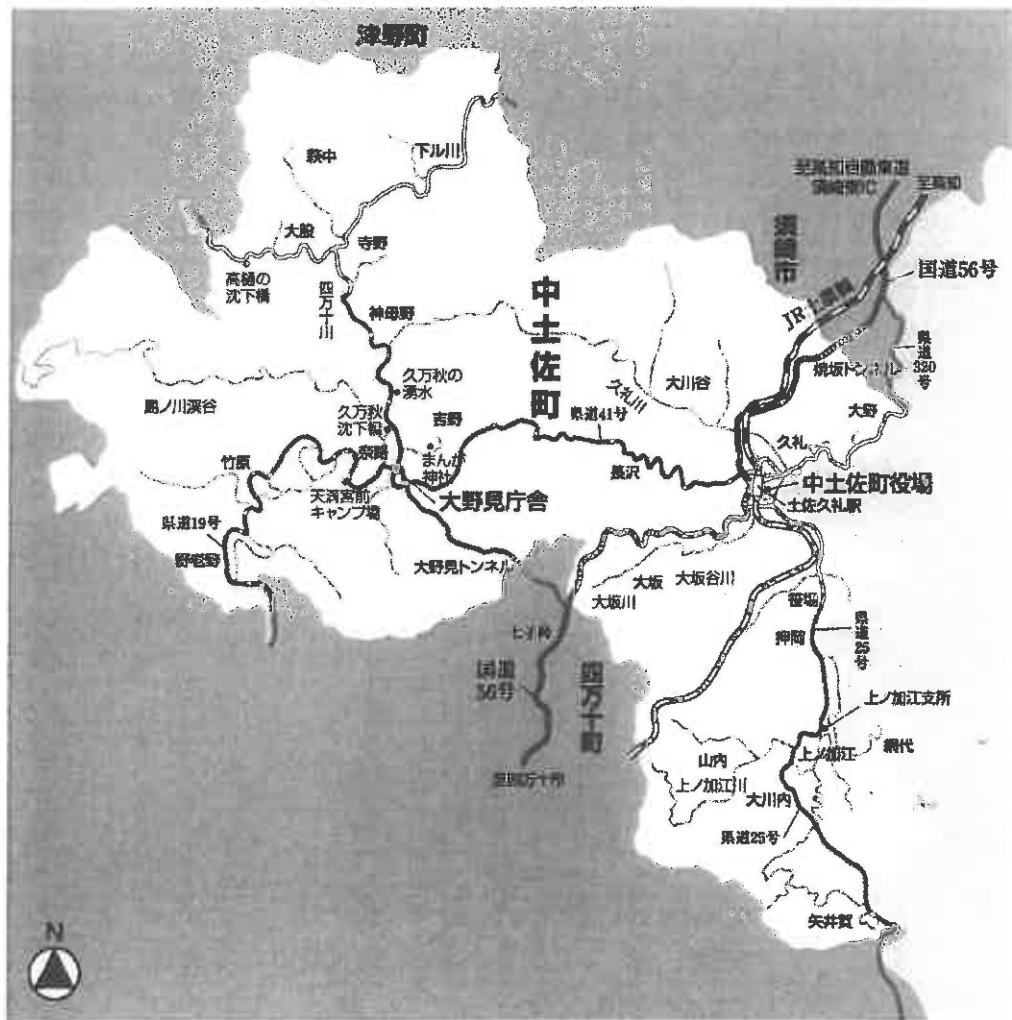
※表中のxは、旧大野見村での事業所が一つしかないため金額は非公表





# 《文化財》

県・市町村別	種 別	名 称	所 在 地	所在地所有(管理)者	指定・選定年月日
町 指 定	無 形 文 化 財	三 番 叟	大野見北地区	北 地 区	昭和44年9月20日
町 指 定	有 形 文 化 財	清 泉 寺 本 殿	竹 原	清 泉 寺	昭和44年9月20日
町 指 定	史 跡	宇 賀 家 祖 先 の 墓	ト ビ ス	宇 賀 家	昭和55年11月27日
町 指 定	有 形 文 化 財 (掛 軸)	乃 木 大 将 の 書	吉 野	大 野 見 村	昭和44年9月20日
町 指 定	有 形 文 化 財 (掛 軸)	東 郷 元 帥 の 書	吉 野	大 野 見 村	昭和44年9月20日
町 指 定	有 形 文 化 財 (絵 画)	竹 原 の 梅	竹 原	個 人	昭和44年9月20日
町 指 定	有 形 文 化 財 (古 文 書)	長 宗 我 部 地 檢 帳	吉 野	大 野 見 村	昭和44年9月20日
町 指 定	有 形 文 化 財 (古 文 書)	小 椋 家 文 書	下 ル 川	個 人	昭和44年9月20日
町 指 定	天 然 記 念 物	皇 太 神 宮 の 森	橋 谷	橋 谷 地 区	昭和47年2月10日
町 指 定	無 形 文 化 財 (民 俗)	花 取 り 踊 り	主に奈路、竹原	各 地 区	昭和47年2月10日
県 指 定	有 形 文 化 財 (考 古 資 料)	銅 戈	久礼字松原八幡宮	久 礼 八 幡 宮	昭和59年3月16日
町 指 定	天 然 記 念 物	長 沢 大 杉	久 礼	長 沢 部 落	昭和51年10月
町 指 定	古 文 書	萬 屋 文 書	矢 井 賀	田 所 弥 助	昭和51年10月
町 指 定	工 芸	鰐 口	久礼字松原八幡宮	久 礼 八 幡 宮	昭和51年10月
町 指 定	工 芸	熊 野 神 社 御 正 体	上ノ加江	吉 門 里 恵	昭和51年10月
町 指 定	史 跡	久礼城跡(佐竹氏居城跡)	久 礼	中 土 佐 町 久 礼 大 坂 長 沢 他	昭和51年10月
町 指 定	史 跡	常賢寺跡(付六部地藏塚佐竹義直主従の墓)	久礼長沢常賢寺谷	西 岡 忠 臣	昭和51年10月
町 指 定	史 跡	海 雲 寺 跡	上ノ加江網代	網 代 部 落	昭和51年10月
町 指 定	史 跡	観 音 堂	矢 井 賀	矢 井 賀 部 落	昭和51年10月
町 指 定	無 形 文 化 財	久礼八幡宮神事(三日間の大祭行幸)奉堂地	中 土 佐 町	久 礼 八 幡 宮	昭和51年10月
町 指 定	天 然 記 念 物	オガタマノキ(100年の成木)	旧役場の庭(永久町)	中 土 佐 町	昭和51年10月
県 指 定	工 芸	久礼の四国遍路板碑	久 礼	中 土 佐 町	平成15年2月
町 指 定	工 芸	矢 井 賀 の 絵 馬	矢 井 賀	矢 井 賀 部 落	平成11年10月
町 指 定	工 芸	佐 竹 義 秀 五 輪 塔	上ノ加江	米 川 靖	平成5年3月
町 指 定	工 芸	池 田 氏 五 輪 塔 群	久 礼	大 坂 部 落	平成5年3月
町 指 定	工 芸	北 村 氏 五 輪 塔 群	久 礼	大 北 部 落	平成5年3月
町 指 定	工 芸	暦 応 二 年 銘 大 師 堂 五 輪 塔	久 礼	神 山 部 落	平成5年3月
町 指 定	工 芸	長 沢 天 文 石 仏	久 礼	長 沢 部 落	平成5年3月
町 指 定	無 形 文 化 財 (民 俗)	廣 野 神 社 御 神 幸 (太 刀 練 り)	上ノ加江	廣 野 神 社	平成5年3月
町 指 定	無 形 文 化 財 (民 俗)	網 代 花 取 り 踊 り	上ノ加江	網 代 部 落	平成5年3月
町 指 定	無 形 文 化 財 (民 俗)	松 尾 神 社 花 取 り	矢 井 賀	矢 井 賀 部 落	平成11年10月
町 指 定	有 形 文 化 財 (工 芸 品)	磨 製 石 斧	押 岡	中 土 佐 町 教 委	平成5年3月
町 指 定	有 形 文 化 財 (工 芸 品)	正 徳 鼻 高 面	久 礼	久 礼 八 幡 宮	平成17年12月
町 指 定	有 形 文 化 財 (工 芸 品)	俱 利 伽 羅 劍	久 礼	久 礼 八 幡 宮	平成17年12月
町 指 定	有 形 文 化 財 (工 芸 品)	木 瓜 牡 丹 文 様 唐 織 裂	久 礼	久 礼 八 幡 宮	平成17年12月
町 指 定	有 形 文 化 財 (工 芸 品)	菊 花 散 双 鶴 鏡	久 礼	上 和 田 部 落	平成17年12月
町 指 定	有 形 文 化 財 (工 芸 品)	龜 甲 紋 双 鶴 鏡	久 礼	中 土 佐 町 教 委	平成17年12月
町 指 定	有 形 文 化 財 (工 芸 品)	奥 大 坂 鰐 口	久 礼	奥 大 坂 部 落	平成17年12月
町 指 定	有 形 文 化 財 (工 芸 品)	小 矢 井 賀 熊 野 神 社 絵 馬 群	小 矢 井 賀	小 矢 井 賀 部 落	平成17年12月



中土佐町役場  
高知県高岡郡中土佐町久礼6602-2

# 会 社 経 歴 書

## 1. 会社名

一般社団法人 more trees

## 2. 所在地

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-9-11 フレンシア外苑西103

TEL 03-5770-3969

FAX 03-5770-3896

## 3. 役員

代表理事 坂本龍一

理事 小黒一三

理事 池田正昭

理事 見城徹

理事 石橋直樹

監事 山崎卓也

理事 市川義男

## 4. 設立年月日

平成 19 年 7 月 19 日

## 5. 事業内容

- 1、植林、森林整備の実施および支援
- 2、カーボンオフセットのサービス提供
- 3、間伐材を利用したアイテムの企画、制作、販売
- 4、肖像、ロゴ、メッセージ等を利用した、Tシャツ等各種商品の企画、制作、販売

## 6. 資本金

3,000 千円

## 7. 従業員数

6 名 (非常勤含む)

8. 主な取引先（敬称略）

株式会社伊勢丹  
ルイ・ヴィトン ジャパン カンパニー  
ワーナーミュージックジャパン  
エイベックス・エンタテインメント株式会社  
コクヨ株式会社  
サザビーリーグ  
株式会社ポンテヴェキオ ホッタ

9. 取引銀行および口座

三菱東京UFJ銀行 表参道支店  
普通 2140730  
一般社団法人more trees  
イツパンシヤダンハウジン モア トウリーズ

10. 会社沿革

2007年7月	法人設立
2007年11月	more trees第1号のプロジェクトを高知県梶原町でスタート（森林整備）
2008年3月	カーボンオフセットサービスをスタート（第一号：坂本龍一のシングル「koko」）
2008年8月	more trees第2号のプロジェクトを高知県中土佐町でスタート（森林整備）
2009年4月	more trees第3号のプロジェクトを北海道下川町でスタート（森林整備）
2009年5月	more trees第4号のプロジェクトをフィリピン・キリノ州でスタート（森林再生）
2009年9月	ルイ・ヴィトンと協働で小諸市での森林整備をスタート（第5号の森）
2009年9月	ANAとのカーボンオフセット・プログラムを供用開始
2009年10月	伊勢丹新宿店にて鳩時計コレクションを展開

*more***Trees**<sup>®</sup>

「more trees」について

2010年1月  
一般社団法人 モア・トゥリーズ

---

## 概略

more trees (モア・トゥリーズ) とは、その名のとおり「もっと木を」という呼びかけです。地球規模で森林の破壊がすすみ、人類の文明そのものが危機に瀕しているいま、more trees というシンプルなメッセージは、現実を動かす具体的なアクションでありたいと思います。木をふやし、森をふやし、森が吸収する CO2 をふやすことを、また森が本来抱えている保水力や生物多様性をはぐくむ力を回復することを、さらには森や水や太陽のめぐみに由来する自然エネルギーに依拠する社会の実現にむかうことを、more trees という名のもとに前進させていくムーブメントをめざします。more trees は、誰もが実感をもって森が再生する喜びをわかちあえる、普遍性をもったプラットフォームでありつづけたいと願います。

## 誕生の経緯

いま、地球上では急速な森林破壊がすすみ、地球温暖化が危機的な状況を迎えています。これまで環境問題や国際平和活動に様々なかたちでコミットしてきた坂本龍一は植林・森づくりによって CO2 の吸収源としての森の再生をはかりながら、人類と文明を絶望的な危機から救わなくてはならない、と感じていました。こうして 2007 年 7 月、坂本龍一をはじめ細野晴臣、高橋幸宏、中沢新一、桑原茂一の 5 名の発起人および各界から 100 名以上の賛同人を得て、more trees が設立されました。

古来より森を失った文明が全て滅んできたことから分かりますとおり、たくさんの生命を育む住処である地球を温暖化や破壊から守り、人類の文明を支え、また CO2 を吸収してくれる木を大切に、植樹をし、日本を含め世界各地の森を再生させることを目的とする。また化石燃料や原子力に替わり、太陽由来の自然エネルギーに依拠する社会に速やかに移行するため努力することを啓蒙、推奨し、その具体的なビジョンを提示したい。

more trees 設立主旨  
坂本龍一

more trees 発起人 founding board members

坂本龍一 桑原茂一 細野晴臣 高橋幸宏 中沢新一

more trees 賛同人 supporters

●AOKI takamasa (音楽家) ●青柳拓次 (音楽家) ●天野祐吉 (コラムニスト) ●荒川眞一郎 (ファッションデザイナー) ●飯野賢治 (ゲームクリエイター)  
 ●yvan (イラストレーター) ●池田正昭 (コピーライター/エディター) ●石井朝子 (greentee) ●石上純也 (建築家) ●石川直樹 (冒険家/写真家) ●石  
 橋直樹 (Governance Design Laboratory) ●石丸アキヒコ (クリスタルボール代表) ●伊勢谷友介 (俳優/映画監督) ●市川義夫 (KAB 社長) ●伊藤穰一  
 (デジタルガレージ共同創業者) ●稲本正 (オークヴィレッジ/NPO ドングリの会代表) ●井上佐由紀 (写真家) ●上田義彦 (写真家) ●内田也哉子 (文  
 筆家) ●エイジアエンジニア (ヒップホップグループ) ●枝廣淳子 (環境ジャーナリスト) ●エドツワキ (イラストレーター) ●M.HASUI (フォトグラフ  
 アー) ●大住憲生 (ファッションディレクター) ●大貫妙子 (音楽家) ●大林ミカ (環境エネルギー政策研究所副所長) ●岡田浩暉 (俳優) ●岡本真夜 (シ  
 ンガーソングライター) ●小黒一三 (編集者) ●Oto (音楽家) ●小尾一介 (デジタルガレージ取締役) ●GAK SATO (音楽家) ●カクマクシャカ (音楽  
 家) ●KATHY (パフォーマンスアーティスト) ●鎌仲ひとみ (映画監督) ●神谷幸鹿 (SHIBUYA-FM 取締役) ●川田龍平 (参議院議員) ●河原光 (アート  
 ディレクター) ●神無月好子 (ライター) ●KIKI (モデル/女優) ●菊地敦己 (アートディレクター) ●草野剛 (アートディレクター) ●熊谷信也 (TBS  
 事業局「赤坂BLITZ」支配人) ●熊谷有記 (インテリアデザイナー) ●christian fennesz (musician) ●christopher willits (artist) ●見城敏 (幻冬舎社長) ●  
 小泉均 (タイポグラファー) ●小林崇 (tree house) ●小林武史 (音楽プロデューサー) ●小林幹也 (インテリアデザイナー) ●サエキけんぞう (アーテ  
 ィスト/プロデューサー) ●坂本幸隆 (TOWER RECORDS) ●櫻井和寿 (音楽家) ●佐々木直喜 (書道家) ●サダヒロカズノリ (イラストレーター) ●Sascha  
 (DJ) ●佐藤直樹 (アートディレクター) ●佐野史郎 (俳優) ●嶺山修 (デザイナー) ●澤田知子 (アーティスト) ●塩崎恭久 (衆議院議員) ●志賀理工  
 子 (写真家) ●柴田廣次 (パルコ執行役) ●清水慶太 (インテリアデザイナー) ●jealk (ロックバンド) ●ショーン・レノン (ミュージシャン/プロデュ  
 ーサー) ●しりあがり寿 (漫画家) ●shing02 (音楽家) ●信藤三雄 (アートディレクター) ●菅谷晋一 (アートディレクター) ●SUGIZO (音楽家) ●祐  
 真期樹 (スタイリスト/写真家) ●鈴木正文 (編集者/ジャーナリスト) ●セキユリヲ (グラフィックデザイナー) ●SOFFet (ラップユニット) ●大日本  
 タイポ組合 (グラフィックデザイナー) ●高城剛 (映像作家/DJ) ●高橋靖子 (スタイリスト) ●高橋健太郎 (音楽評論家/音楽プロデューサー) ●高谷  
 史郎 (芸術家) ●瀧本幹也 (写真家) ●武田双雲 (書道家) ●竹村真一 (Earth Literacy Program 代表/京都造形芸術大学教授) ●田島一成/Tajimex (写  
 真家) ●田中優 (文筆家) ●田中泯 (舞踊家) ●谷口恭子 (編集者) ●谷崎テトラ (構成作家/音楽家) ●田村淳 (ロンドンブーツ1号2号) ●月本裕 (作  
 家) ●辻信一 (「ナマケモノ倶楽部」世話人) ●点 (デザイナー) ●Donny Grafiks (グラフィックデザイナー) ●外山輝信 (web デザイナー) ●豊田弘治 (イ  
 ラストレーター/グラフィックデザイナー) ●中島英樹 (アートディレクター) ●長島有里枝 (写真家) ●中城敏 (commons/プロデューサー) ●中田英  
 寿 (FIFA 親善大使) ●中浜宏一 (アースウォーカー) ●中村隆市 (株式会社ウィンドファーム代表/スロービジネススクール校長) ●ナチュラル ハイ (女  
 性音楽デュオ) ●並木豊明 (ロイド代表/メガネディレクター) ●成宮寛貴 (俳優) ●名和晃平 (個体作家) ●西健一 (ゲームクリエイター) ●西脇一郎 (イ  
 ンテリアデザイナー) ●新田桂一 (写真家) ●203gow (編み師) ●信國太志 (ファッションデザイナー) ●野村浩司 (写真家) ●元ちとせ (歌手) ●東  
 泉一郎 (アートディレクター) ●ピーター・バラカン (ブロードキャスター) ●平間至 (フォトグラファー) ●広河隆一 (写真家) ●広川泰士 (写真家)  
 ●ヒロコレッジ (アーティスト) ●ヒロ核山 (アートディレクター) ●深澤直人 (プロダクトデザイナー) ●福岡伸一 (分子生物学者) ●藤田志穂 (シホ  
 有限会社 G-Revo 代表) ●船木三秀 (プロサーファー/写真家) ●Paul Davis (Artist) ●堀美紗子 (エコバール日本支社代表) ●本田ゆか (ミュージシャン  
 /プロデューサー) ●マエキタミヤコ (サステナ代表/コピーライター) ●正木高志 (エコロジスト/文筆家) ●松井龍哉 (ロボットデザイナー) ●松江泰  
 治 (写真家) ●松尾貴史 (放送タレント/俳優) ●松武秀樹 (音楽家) ●Monday Michiru (音楽家) ●澤口佳代 (ビジュアルリスト) ●村上龍 (作家) ●MOTOKO  
 (写真家) ●森川欣信 (音楽プロデューサー) ●森住卓 (写真家) ●もりばやしみな (音楽家) ●森本千絵 (アートディレクター) ●山田玲司 (漫画家)  
 ●山本峰由 (web magazine "OPENERS" 発行人) ●山本哲郎 (アートディレクター) ●YAM (音楽家) ●横山豊蘭 (書道家) ●吉田真紀 (プロダクツ  
 デザイナー) ●吉原悠博 (美術家/写真館店主) ●吉村栄一 (編集者) ●吉本多香美 (女優) ●米田知子 (写真家) ●Johan Prag (アートディレクター)  
 ●Lallasoo Poopo Lab. (グラフィックデザイナー) ●リリー・フランキー (作家/イラストレーター) ●和多利浩一 (ワクリウム美術館キュレーター)

※五十音順 敬称略 ★2010年1月現在/155名

## 活動のコンセプト

- みんなで、たのしく、正しい森づくり
- 温暖化対策、地域づくり、生態系に配慮した森づくり
- 自治体や NGO と連携した森づくり

## 日本と世界の森林

地球上では 1 秒間にサッカー場 1 面分の森林が失われているといわれています。一方で日本は、国土の 67%が森林におおわれている、先進国でも屈指の森林国なのです。

ところが、その日本の森林がピンチです。日本の森林の 40%は、スギやヒノキなどの人工林で、その大半は戦後に植えられたものです。本来人工林は定期的の間伐や下草刈りなどの手入れを行なうことで循環していました。しかし海外からの安い木材が大量に輸入されるようになったことで林業の採算が悪化し、手入れがされていない人工林がかなりの面積を占めています。

間伐つまり間引くという行為は、木を切ってしまうので一見してネガティブに捉えられがちですが、間伐をすることで地面に光が当たるようになることで草が生え、保水力のアップや土壌流出の防止、さらには生態系の向上などさまざまな効果が期待されます。

こうした背景から、私たち more trees は、国内では植林ではなく、間伐を推進しています。一方で海外では、植林をメインに活動を進めています。



間伐がされていない森。薄暗く、地面に草がほとんど生えていない。



間伐が進んだ森。光がさし、下草も生い茂っている。



more trees の森づくり 4つのカテゴリー

主に以下の4つのカテゴリーにおいて、具体的なプロジェクトを立ち上げていきます。

日本の森林再生 <PINE FOREST>

⇒森林整備から間伐材の利用までも視野に。各都道府県と協定締結。

熱帯林の再生 <TROPICAL FOREST>

⇒熱帯林、熱帯雨林の植林。インドネシア、フィリピン、ベトナム等。

砂漠の緑化再生 <DESERT GREEN>

⇒砂漠化する大地を緑にもどすプロジェクトを中国などで展開。

「海の森」の再生 <SEA FOREST>

⇒主にマングローブの植林をフィジーや南太平洋の島々で実施。



高知県持原町



高知県中土佐町



北海道下川町



フィリピン・キリノ州

## カーボンオフセットの展開

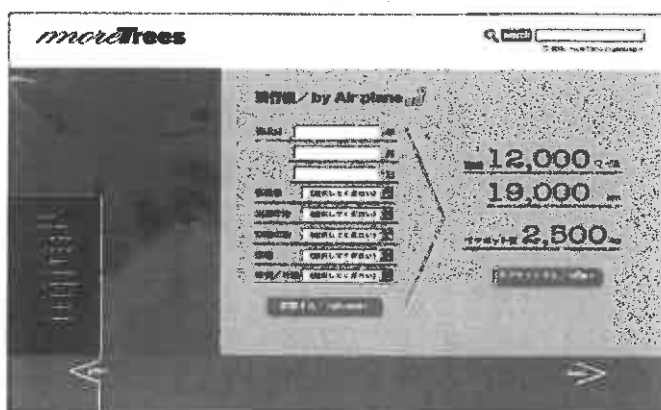
more trees は、カーボンオフセット・プロバイダーとしてさまざまなサービスを展開します。

### ◆個人の方へ◆

#### ・カーボンオフセットサービスの提供

みなさんの生活や活動によって排出された CO2 をオフセット (相殺) する機会をご提供します。たとえば飛行機で海外旅行したときに排出される CO2 を森づくりでオフセット。日々の使用電力によって排出される CO2 をオフセット。下記 URL より、みなさんの CO2 排出量が簡単に計算することができます。まずは自分の生活によって排出される CO2 を把握してみませんか？

<http://www.more-trees.org/calculator/lets-try.html>



#### \*オフセット認証アイテムの例



◆企業の方へ◆

カーボンオフセットプロダクト/サービスを展開しませんか？

個人の方と同様、企業の排出するCO2も森づくりでオフセットできます。

たとえば、イベントやツアー開催で排出されるCO2をオフセット、広告や書籍、CD製造に伴って排出されるCO2をオフセット、社員旅行やエコツアーの飛行機移動により排出されるCO2をオフセット。製品やパッケージ、PR等にmore treesのカーボンオフセット認証用マークを付けることも可能です。また、ご希望があればカーボンオフセット証書を発行いたします。

良質の森づくりを展開し、吸収源のカーボンオフセットとしても確かな指標を示せるmore treesとの連携をはかり、本業とリンクした森林保全活動を推進しませんか。

◆代表的なカーボンオフセット事例◆



コクヨ(株)様：広告



ANA様：カーボンオフセットサービス



ワーナーミュージック ジャパン様：

ラジオのリクエスト1曲につき5kgのカーボンオフセットを実施



ANA サービス(株)様：

エコツアーの飛行機利用



◆認証用マーク

マークの下に記載されている数字は、more treesが実際に手がけるプロジェクト森林の位置をGPSデータ(緯度・経度)で示しています。どの森でオフセットされているのかまで明確にできる、こだわりの自主ラベルです。

▲more treesの森づくりへの参画によってカーボンオフセットしたことを証明するマークです。カーボンニュートラル(ゼロ)が達成されたときのみ使用可能なため、このマークを用いること自体に価値が見出されます。企業にも個人にも適用するmore treesのブランドアイデンティティです。

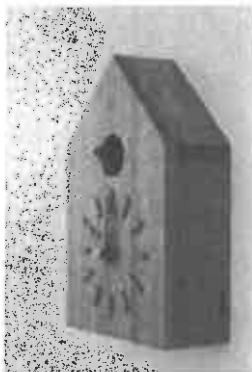
## オリジナルグッズの販売

more trees は、間伐材の有効利用を促進し、新しいライフスタイルを提案します。

スギやヒノキ等を間伐した際に発生する間伐材。節が多い、曲がりやねじれがある等、加工に不向きな理由もあり、これまで有効活用されていませんでした。その間伐材をどんどん有効に使っていかう、と more trees は考えます。間伐を推進するとともに、間伐材を有効利用することが正しい森の循環を生むと考えるからです。地元業者やプロダクトデザイナーと共同で、間伐材の利用価値を見直し、かつ国産材の良さを感じられるアイテムを開発・販売していきます。新しい付加価値をもった木製グッズを、暮らしの中に取り入れてみませんか。



間伐材ベンチ(more trees 賛同人・深澤直人氏デザイン)



鳩時計(デザイン：深澤直人)



フレーム棚(デザイン：小林幹也)



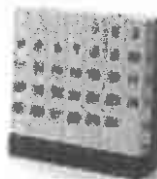
プランター(デザイン：熊谷有記)

その他のオリジナルグッズは

EC サイト「rumors」

<http://rumors.jp/moretrees/list.html>

をはじめ、伊勢丹新宿店メンズ館などでも取り扱っていただいています。



万年カレンダー(デザイン：清水慶太)



ブローチ(デザイン：熊谷有記)

森を通じた連携

健全な森づくりのために、様々な分野の方々と森への想いを共有していきたい、と more trees は考えています。個人・法人・自治体が森を通じて結びつく、そのつなぎ役になります。

◆企業の方へ◆

① 収益の一部を more trees に ~profit for more trees

商品やイベントの収益の一部を more trees 事業のための基金にしませんか？従来型の、企業による NGO や公益団体へのコントリビューションのかたちです。森づくり・森林保全を支援対象にしたいと考える企業にとっては、more trees は信用性においても話題性においても、この分野ではこれまでなかった新しい受け皿となるでしょう。

◆代表的なチャリティー事例◆



▲伊勢丹—Bonds with designers



▲Afternoon Tea TEAROOM 「Tea for Trees」

B A R N E Y S  
N E W Y O R K

▲BARNEYS NEW YORK×more trees  
チャリティー企画



▲ポンテヴェキオ てんとう虫型ジュエリー

② プロモーション with more trees

広告物やプロモーションツールの要素に「more trees へのサポート」を組み入れて、more trees のソーシャルなメッセージとともに販促機会の活性化をはかりませんか。

③ クリック募金

more trees のサイトおよび協力してくれる個人のブログに、more trees へのクリック募金の窓口（バナー）をもちます。バナーはクリックすることで more trees への支援になると同時に、スポンサーサイトに通じます。すなわち広告です。自社の広告宣伝活動に寄与しながら、個人と more trees の接点をふやすご協力をお願いします。



◆地方自治体の方へ◆

more trees の森づくりをイニシャルケースにして森林整備（間伐）をすすめませんか。また、more trees と連携したプロダクトの開発、森林セラピー等を提供するエコツーリズムの推進、など、地方自治体の持つ豊富な環境資源・人材を活用しませんか。

◆海外で植林活動をしている NGO・NPO の方へ◆

more trees とともに、既存のプロジェクトをバージョンアップさせたり、新規プロジェクトを立ち上げませんか。

むすびに

圧倒的な訴求力と実現力とともに、大きな可能性をもった環境ムーブメントになります。皆様とのコラボレーションにより、多彩に面を広げていくことができれば幸いです。

*more***Trees**

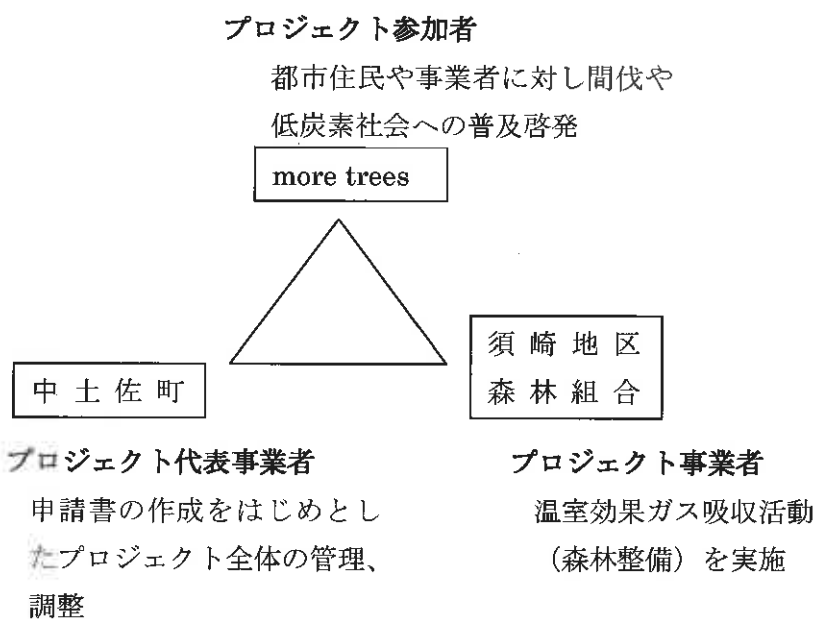
---

*more***Trees**<sup>®</sup>

<http://www.more-trees.org>

---

## 高知県中土佐町四万十黒潮の森間伐推進プロジェクト実施体制



中土佐町はプロジェクトの代表事業者として、プロジェクトの実施及び関係機関との連絡調整をおこないます。須崎地区森林組合は間伐等の温室効果ガス吸収活動をおこないます。more trees はプロジェクトに対して支援を行うとともに、都市住民や事業者に対する間伐の重要性及び低炭素社会への普及啓発を行います。